

AYA 世代がん患者のケア

～OCNS および CLS の観点から～

AYA 世代がん患者のケアニーズへの対応として、当事者の意向を汲み取る方法、AYA サポートチームの作り方、発達段階を捉えた対象理解の方法、家族支援などについて、臨床の一線でご活躍の医療者の方から現状や課題についてお話いただき、ともに考える時間を持ちたいと思います。

AYA 世代がん患者のケアに携わられている方々に是非、ご参加いただければと思っております。

日時：第1回 7月 1日(火) 18:00～19:00 (太田先生)

第2回 8月 22日(金) 18:00～19:00 (長野先生)

※2日間参加を前提としてお申込みください。

場所：兵庫県立大学 看護学研究科遠隔講義室(Zoom)

※アクセス先(URLとパスワード)は、以下のサイトにてお申し込みをいただいた方にメールでご連絡いたします。

対象：がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、
CNS コース大学院生、修了生、教員(先着 80 名)

講師：太田 佳男 先生

岡山大学病院 看護部 腫瘍センター がん看護専門看護師

長野 友希 先生

大阪母子医療センター リハ・育療支援部門 ホスピタル・プレイ士

(チャイルド・ライフ・スペシャリスト)

無料

■お申し込み先(事前申し込みとなります)

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、**2025年6月25日(水)**までにご登録ください。

<http://www.apnhyogo.net/seminar2/>

※登録完了次第、折り返しアクセス先など詳細をご連絡いたします。スマートフォンなどからお申し込みの場合、PCからのメール受信ができる設定にしておいてください。また定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただくことがありますのでご了承ください。



—主 催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン(責任者:川崎 優子)

■講師紹介

太田 佳男(おおた よしお)先生

2003 年川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科卒業後、京都府内の病院勤務後、中学校・高校で養護教諭を経て岡山大学病院で看護師として勤務し、2014 年岡山大学大学院保健学研究科博士前期課程へ進学、2017 年修了、同年にがん看護専門看護師の資格を取得されました。現在は、岡山大学病院の緩和ケアチームに所属し、チームやがん看護外来を中心として活動されておられます。

所属：日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本高度実践看護学会、日本がん・生殖医療学会、AYA がんの医療と支援のあり方研究会

<岡山大学病院 腫瘍センター がん看護部門>

県内がん看護の均てん化や連携を目指した活動を企画し、部会メンバーと協力して運営しており、部会活動の成果と課題は定期的に関係会議等で報告・検討し、活動計画の改良につなげています。

長野 友希(ながの ゆき)先生

2007 年奈良女子大学大学院人間文化研究科博士前期課程(地域環境学)修了。NPO での多文化共生事業や特別支援学校教員を経て、米国 University of Pittsburg, School of Education に進学。2014 年 4 月 Applied Developmental Psychology で修士号を取得されました。2015 年 3 月、Certified Child Life Specialist 資格取得。2015 年より、大阪母子医療センターにて、ホスピタル・プレイ士(チャイルド・ライフ・スペシャリスト、CLS)として勤務。外科系病棟で 6 年間勤務後、2022 年より血液・腫瘍科病棟を担当。外来や外科系・内科系病棟からの依頼にも対応されておられます。関心は医療的にいろいろな背景を持つ子どもの地域における生活。魔の三歳児の子育て中。

<ホスピタル・プレイ士>

大阪母子医療センターにおける院内名称で、スタッフは、CLS やホスピタル・プレイ・スペシャリスト(HPS)などの資格を保持する。医療環境において、子どもや家族が直面する不安やストレスを和らげ、その子なりの方法で困難を乗り越えられるための心理社会的支援を行う専門職。子ども自身が主体的な存在であり、医療体験を少しでも前向きに乗り越えていけるように、子どもの発達やストレスへの対処に関する専門知識を持って支援を行う。

■講演内容

第1回:「AYA 世代がん患者への意思決定支援の現状と課題」(太田先生)

臨床における AYA 世代看護の関わりの実際(YA 世代の意向の汲み取りの看護の工夫点や AYA 世代がん患者を全人的に捉えるアセスメント等)について紹介し、事例をもとにグループ毎に Discussion をします。

第2回:「小児がん(A 世代)患児の心理社会的サポート」(長野先生)

病院における CLS から心理社会的支援を行う職種の働きや役割を紹介し、介入の基礎・視点となる子どもの発達について確認します。小児専門病院における、小児がんの子ども(A 世代)の関わりの実際、多職種連携、家族支援などについて紹介します。事例を通して、多職種の協働における現状と課題についても考え、参加者とともに Discussion を行います。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858

E-mail:ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo